

宮潟地先潜水記録 (世界測地系)	
調査実施日	令和5年5月25日
調査地点	阿児町国府地先 の矢港国府地区(1) 宮潟浦
構造／底質	砂泥
天 候	晴れ(雲量 6)
気温	20℃
水温	21,8℃
最大水深	2,6m
平均水深	1,8m
潮流	—
風／波浪階級	風
透明度(透視度)	1,5m
調査潜水時間	9:12～10:38(86分)

概要

宮潟地先におけるアマモ分布調査を行った。

調査は宮潟浜の漁港付近にて対岸方向に 100mのラインを設置し、5mピッチで 1 m²の枠内におけるアマモの全体数を数え、うち生殖株も把握した。(調査地図参照)

調査を実施したところ、アマモの生殖株には花穂が認められる状態で、中には成熟したものも少数見られた。

ライン調査の 100m地点はアマモが 1 m²あたり 50～60 本分布し、更に対岸方向に分布が広がっていた。また、60m付近では 100 本前後の分布があり、パッチ状に特別に濃い分布の場所があるようであった。

また、岸から 30m地点を超えると分布が濃くなりはじめ、岸近くではアマモは皆無であった。なお、アマモの体高については岸から 35m地点までは 50～70 c mであったが、それ以降は 80 c mに達する体高のものが目立っていた。生殖株については全体の 1～2 割程度の本数が認められた、花穂全体は未成熟のものが多かった。

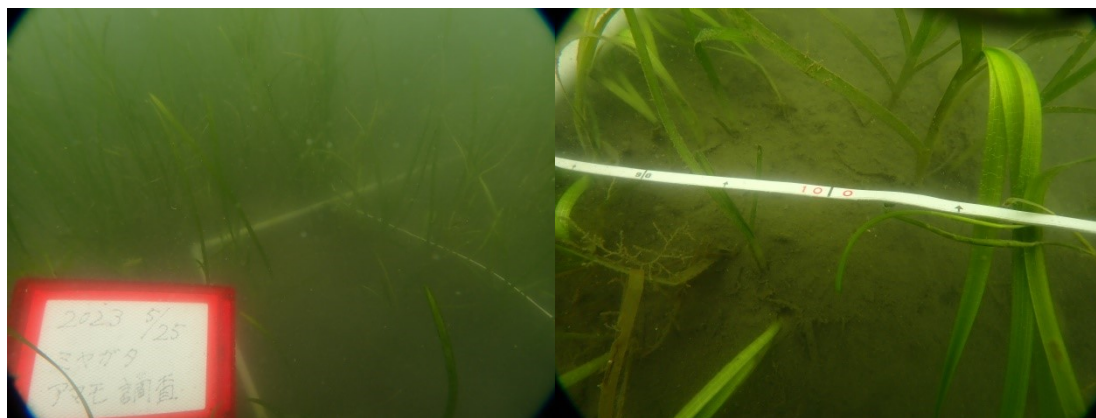


調査ライン (100m)

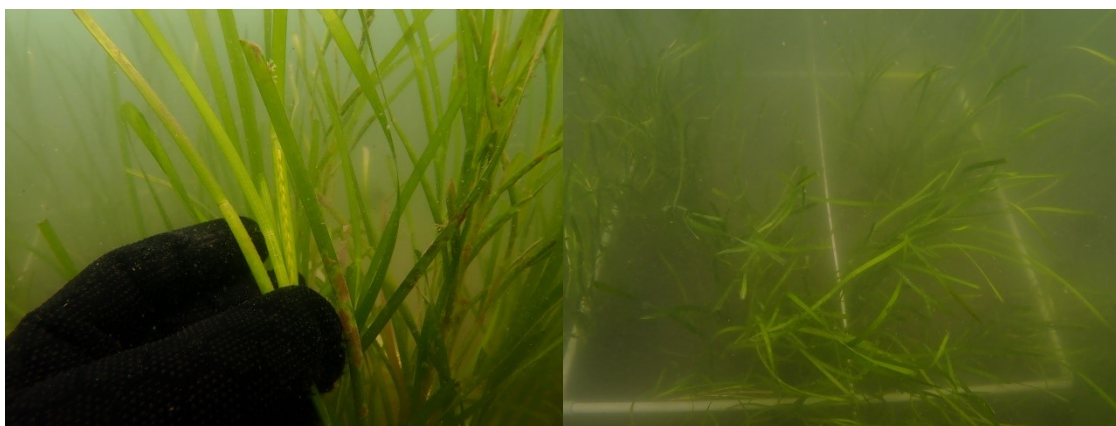
宮潟浦におけるアマモライン調査結果 (R5,5,25)

地点(m)	全数(本)	生殖株(本)	体高(cm)	備考
0	0	0	—	これより岸側にアマモは見られない
5	6	2	70	
10	6	0	50	
15	4	0	50	これより岸側全体に分布は薄い
20	42	4	70	
25	43	6	70	
30	16	1	70	
35	74	12	70	
40	88	16	80	
45	69	18	80	
50	27	3	70	錨などの何かを回収した場所と思われる
55	86	9	80	
60	101	12	80	この周辺は非常に分布密度が濃い
65	93	14	80	
70	59	8	80	
75	33	4	70	
80	66	10	70	
85	65	13	80	
90	50	13	80	
95	56	6	80	
100	58	6	80	

調査写真

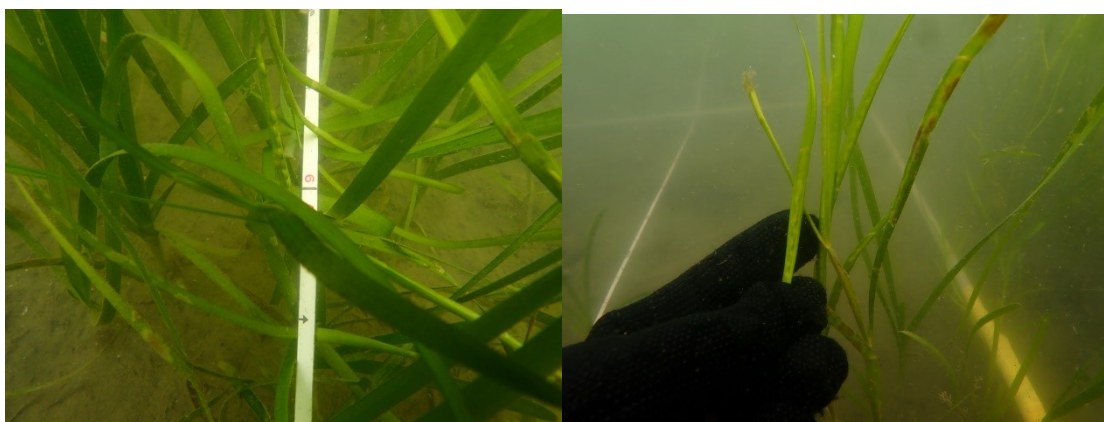


100m地点の様子



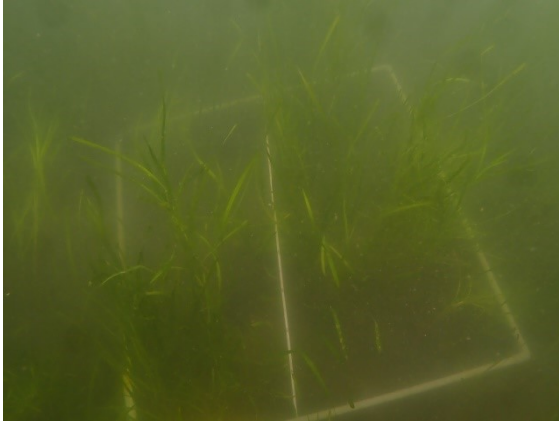
85m地点花穂の様子

80m地点の様子



60m地点

60m地点



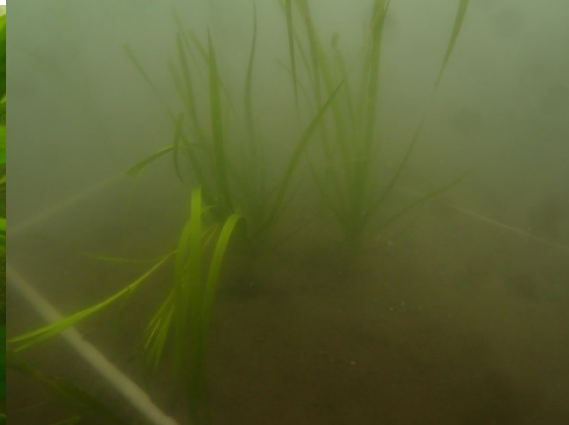
45m地点



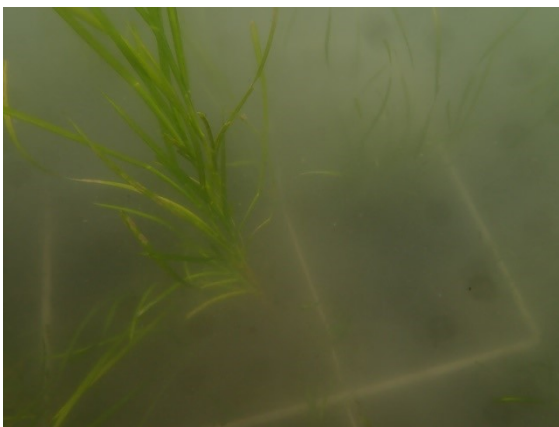
45m地点生殖株



35m地点産卵跡



30m地点はアマモが少なくなる



15m地点はアマモが少ない



5m地点生殖株